

意見発表者22(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

部厚い「ハツ場カム建設事業の検証に係る検討」についての意見聴取であるが、私はこの中で記述の少ない品本カムの問題について述べてみたい。命の危機を救うために！
2009年11月13日朝日新聞の記事で国交省が基準を起すヒ素を検出していなから公表しない問題を取上げていた。それも吾妻川に流れ込むいくつかの支流は強酸性であるため、カムは造れな川とされていたのに中和する品本カムをつくりカム建設計画が進められたのだ。しかし、そのために石灰を1日60t投入し続けなければならぬのだ。火山活動で無限に出てくる酸性水、中和生成物が溜り続けるのである。そのため、それを浚せつるのであるが、水を絞ってセメント固化しカム湖周辺に高く積み上げている。問題はヒ酸鉄がPHが高いと水溶性アルカリヒ酸塩と不溶性の水酸化鉄に分解され、周辺をヒ素汚染することだ。現在トライバースで500t以上を局所にためたヒ素の存在に目を閉る訳にはいかなないのだ。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。